

## Helicobacter pylori 未感染胃の過形成性ポリープの内視鏡的特徴の検討

### 1. 研究の対象

2011 年 4 月から 2018 年 1 月までに当院で胃ポリープの内視鏡的切除され、胃過形成ポリープと診断された方です。

### 2. 研究目的・方法

胃過形成性ポリープ (Gastric hyperplastic polyp: GHP) は、胃ポリープ全体の 18-70% を占め、腺窩上皮の過形成が見られるものです。GHP は主に Helicobacter pylori (HP) 感染による炎症に関連して発症すると考えられてきましたが、HP 未感染胃に生じる GHP は稀ながら存在します。2017 年に Miyamoto らが、HP 未感染の正常胃粘膜に生じる GHP の症例を最初に報告しましたが、その詳細な内視鏡的特徴は明らかにされていません。本研究では、当院で内視鏡的切除した HP 未感染胃に生じた GHP の内視鏡的特徴を明らかにすることを目的とします。

当院で 2011 年 4 月から 2018 年 1 月までに内視鏡的切除され、胃腺窩上皮型 GHP と診断された 36 例のうち HP 現感染または既感染に生じた 30 例 (HP 陽性群) と、HP 未感染胃に生じた 6 例 (HP 陰性群) を対象とし内視鏡的特徴を比較検討します。HP 未感染胃は、①血中抗 HP 抗体 < 3 U/ml、②内視鏡所見で木村-竹本分類 C-I かつ体下部小弯に RAC が確認できる、③病変の周囲胃粘膜に組織学的萎縮および腸上皮化生がない、の 3 項目を満たすものと定義します。検討項目は、病変の長軸位置 (U/M/L) ・ 周在 (Ge/Lc/Aw/Pw) ・ 腫瘍径 ・ 肉眼型 (山田分類)、また病変の内視鏡所見として、発赤、表面びらん ・ 白苔付着、葉構造の他、微細粘膜構造 (腺溝型/腺窩型/腺溝 ・ 腺窩混合型) についても検討します。同一症例で同一年内に複数の病変が切除された場合、最も進行した病変の所見に基づいて検討を行います。以上のような方法で HP 未感染胃に生じた GHP の内視鏡的特徴を後ろ向きに評価します。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024 年 3 月 31 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：内視鏡画像、血液検査データ等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 消化管内科 中村 孝彦  
住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69  
電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 消化管内科 上堂 文也  
住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69  
電話：06-6945-1181

-----以上